

こそだて通信

2012年11月号

==いっしょにしよう==

すっかり秋らしくなってきました。朝晩も冷え込んできましたね。

私事で恐縮ですが、第二子が誕生しました。

今まで子どもが1人だけでも育児は十分大変だと思っていましたが、2人になって、自分が1人しかいない不便さ(?)を日々感じています。

生まれてからというもの、上の娘によくこう言われるようになりました。

「いっしょにやろっか」 「いっしょにしようよ」

下の子が生まれたことで、余計に母親と一緒に過ごしたい気持ちもあるでしょうが、私自身、下の子に手が取られて、実際に一緒に何かをする事が少なくなっていると気づかされます。

よく、お昼寝している間に上の子どもと一緒に過ごしてあげるといい、といいますが、正直言って、子どもが寝ている時にこそ済ませてしまいたいことは山ほどあります。

けれど、しなければいけない家事を一つ省いて、子どもがしたい事を一緒にしながら過ごした時は、子どももぐずらず嬉しそうで、いい笑顔ですし、私も何かに追われるような気持ちではなく、ゆったりして満足している事に気が付きます。

慌ただしい毎日に流されて、しなければいけない事をすべてしなくて、と肩に力を入れて過ごしていると、子どもの笑顔を見る機会が少なくなっていないですか。子どもが小さい今しか見られない笑顔を見るために、毎日頑張って家事育児をしているようなものなんですから。寝る前に、今日の子どもの笑顔を思い出せれば、今日も一日オクケーではないでしょうか。

(臨床心理士 藤井あづさ)